

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「笑顔がすてき いいこといっぱい 下和泉」～ ふれあい めめ合い 学び合い ～
○自ら課題を見出し、共に学び合うことで基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ態度を育てます。【知】
○進んで自分らしさを発揮し、自分のよさを伸ばせるとともに、他の人との違いも認め合うことができる子どもを育てます。【徳】
○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。【体】
○共に学び合い、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。【公】
○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。【開】

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

Table with 2 columns: 育成を目指す資質・能力 and 具体化した資質・能力. Content includes '自分らしさを発揮しようとする姿勢' and '他者との「ふれあい」を通してありのままの自分を理解し、そのよさを発揮しようとする姿勢'.

中期取組目標

○人との豊かな関わりを通し、成功体験をふやすことで自分に自信をもち、意欲的に活動に取り組む子どもを育てます。
・多様な考えを働かせ、思考力・判断力・表現力等を身につけることで、主体的に学ぶ子どもを育てます。
・人と豊かに関わることで、自分の良さに気づき、自己有用感をもてる子どもを育てます。
・キラリンピックの取組や学校保健委員会の取組を通し、健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。
・まちとの関わりを大切に、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。
・様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 and 具体的取組. Content includes '授業づくり' and '①子どもが安心して授業に臨めるように、授業改善を図るとともに、学習環境を整える。'.

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童の実態
○横浜市学力学習状況調査による学力の状況としては、市平均には及ばず、学力は低い傾向が続いている。
○学習意欲が低いわけではなく、学力レベルに沿った授業を工夫して行うことで、楽しみながら学習に取り組む児童は多い。
○どの学年においても、日々の学習においては、基礎基本の定着に苦慮する実態があり、発展や応用的な学習を展開することに課題がある。
○学習への取り組み方や家庭学習の状況は個人差が大きく、学力の向上や学習内容の理解の定着にも、個人差がある。
○思考力や読解力の少なさが、表現力の低さへとつながっており、授業改善を通して、資質能力の育成を図る必要性を強く感じている。
(2)これまでの学校の取組状況
○中期学校経営方針や学力向上アクションプランでは、授業改善や学力向上を目標や重点取組として掲げて取り組んできた。
○校内重点研究とも関連させ、子どもが「わかる楽しさ」を味わい、自ら学びに向かっているような学習展開を目指して、授業改善を図ってきた。
○情報環境を整備し、教材の共有化を図ったり、タブレット等の活用を進めたりすることで、児童の学習意欲を高めるとともに、教師の授業準備の省力化を図ってきた。
○家庭学習への理解や協力について積極的に発信をしたり、スキルタイムをモジュールで時数として計上したりして学力の定着を図る取組を続けてきた。

今年度の目標

子どもが主体的に学びに向かえる授業づくり
子どもの思いを生かす授業づくり

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期 and 下半期. Content includes '○学年研やブロック研において、単元構成や授業展開などを具体的に検討し合える時間を大切にすること。' and '○児童の上半期の育ちをふり返る機会を設けて、下半期の授業づくりの改善について、学年やブロックで検討する。'.

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 and 具体的取組. Content includes '児童理解の場をもち、児童理解を深める。' and '①児童理解の場をもち、児童理解を深める。'.

豊かな心に関わる本校の状況

(1)豊かな心に関わる児童の実態
○横浜市学力・学習状況調査より、学習を大事だと考えている児童が多いが、学習への主体的な参加や学習への理解度は低く、学習を通して達成感や満足感を感じられていない。自分の思いや考えを発表することに苦手意識をもつ児童が多い。
○生活アンケートから学校は楽しいと感じている児童が多く、友達関係やコミュニケーションは概ね良好であり、学校生活を楽しく過ごしている児童が多い。
(2)これまでの学校の取組状況
○「特別の教科 道徳」を重点的取組教科に位置づけ、各学級担任が自己有用感を育む道徳教育を目指して展開していく。
○子どもの社会的スキル横浜プログラムの指導プログラムを教育課程の中に位置づけて実施し、意図的・計画的に子どもの社会的スキルの系統的な育成を図る。
○ソーシャルスキルトレーニングを教育課程の中に位置づけ、日々の生活の中で人間関係をよりよく作っていくための学習を展開していくことにした。
○日々の教科領域の授業の中で、子どもの社会的スキルの育成をねらった授業を展開することにより、だれもが安心して授業を受けることができるようにする。
○教師のいじめへのアンテナを高くすることで些細なことでもいじめとして認知し、児童が安心して生活できる環境を整えてきた。

今年度の目標

子ども同士が同じ社会に生きる人間として、互いに正しく理解し、助け合い、支え合う大切さを学ぶなど、自他の価値観を尊重できる態度を育成する。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期 and 下半期. Content includes '・道徳教育について、家庭・地域に発信する。' and '・特別支援教室の振り返りを行う。'.

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 and 具体的取組. Content includes '保健管理' and '①家庭との連携とともに、児童会活動の取組や学校保健委員会を活用しながら、自立や実践につながるような姿を培う。'.

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる児童の実態
○健康診断では、むし歯・歯石のある児童の数が多く、歯磨き習慣がついている児童が少ない。保健室に入室した児童の多くは朝ご飯を食べておらず、睡眠時間も少ない。
○横浜市学力・学習状況調査の生活・学習調査では、朝食を毎日食べているか、睡眠時間、などが少ない傾向にある。また1日どのくらい運動しているか、という項目においても市平均より運動時間が少ない状況にある。
○普段の体育の学習では、運動に親しみ、体を動かすだけではなく、「どうすればチームで連携したり、よりよい動きにつながるのか」などを学習カードに記入したり、チームでアドバイスしあったりして思いを表現していた。
(2)これまでの学校の取組状況
○体育科では、各学年において、「わかる・できる」楽しさを味わう授業を展開し、運動が好きになるように学習を実施してきた。
○各学年の授業において、新体力テストの結果分析を児童自身が把握できるようにし、自己のめあて設定に生かせるようにしてきた。
○運動会やスマイルタイムを6年生や運動委員会が中心となって運営し、運動に親しみむようしてきた。

今年度の目標

児童一人ひとりがより健康的な生活について自ら考えたり、具体的な実践をしたりすることや保護者との連携を通して、主体的に生活習慣を改善しようとする態度を育成する。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期 and 下半期. Content includes '○横浜市体力・運動能力調査を通して、生活習慣についての児童理解を深め、朝ごはん、歯磨き、手洗い、睡眠時間の大切さなどについて学年に応じた指導を行うとともに、保健委員会を中心に歯磨きの大切さ、歯磨きの仕方に関する活動を実施する。' and '○保健だよりを通して、日常的な健やかな体に関わる取組を家庭・地域に発信する。'.